

情報学部学生が利用可能な 名大内の情報基盤とサービス

名古屋大学 情報基盤センター
情報基盤ネットワーク研究部門
基盤ネットワーク研究グループ

嶋田 創

概要

- 機構アカウント/名古屋大学ID
 - 現状のアカウント体系
 - パスワード管理について
- 機構契約のMicrosoft 365サービス
 - Office 365の利用
 - 機構メールサービス
 - Microsoft Teams
- 利用可能な計算機システム
 - 全学的な情報メディア教育システム
 - 情報学部の計算機システム
- その他の情報連携推進本部のサービス
- 名古屋大学図書館のサービス

現在のID体系について

- (東海国立大学)機構アカウントと名古屋大学IDを併用中
 - ほぼ機構アカウントへの移行は終了
 - 名古屋大学IDは今年度こそ終わる予定
- 機構アカウント(THERSアカウント)
 - 東海国立大学機構発足後に作られたID(2021/7-)
 - 岐阜大学の学生/教職員にも割り振られる
 - 所属情報を利用して名大OK岐大NGな情報サービスも提供可能
 - 現在は以下のサービスを機構アカウントで
 - 機構で契約しているMicrosoft 365 (旧Office 365)
 - 機構メールアカウント(MS 365のメールサービスに名大ドメインを付与)
- 名古屋大学ID(名大ID)
 - 20年ほど前から使っている名大の学生/教職員のID
 - 基本的に「もう利用終了」の扱い

機構アカウント(THERSアカウント)

- 東海国立大学機構の全構成員に付与されるID
 - 一部サービスは卒業後も利用可能
 - (IDが長く名大IDより入力が面倒)
- ID所有者などの所属によって利用可能なサービスが異なる
 - 教員と学生とかXX学部とか
- 機構にかかわる人(生徒の親など)のための機構外認証も存在
- ヘルプセンター:
<https://thersac.icts.thers.ac.jp/hc/ja>

<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/thersac/>
 (検索キー: 機構アカウント)
 注: 以下、検索キーはDuckDuckGoもしくはGoogleでの検索を想定

[ホーム](#) » [情報サービス一覧](#) » [機構アカウント \(THERSアカウント\)](#) の:



機構アカウント (THERSアカウント)

[Click here to translate this page to English using Google](#)

新着情報

- 2022.3.30 新入生向けの多要素認証セットアップお助け会を
- 2022.3.18 新入生/新任教職員のための情報環境セットアップ
- 2022.3.17 セットアップお助け会も順次開催しております。
- 2022.2.7 東海国立大学機構DU構想実現に向けた名大情報シ
- 2021.10.4 機構メールの迷惑メール判定につきまして
- 2021.10.4 学生の皆さんへ
- 2021.9.7 東海国立大学機構DU構想実現に向けた名大情報シ
- Realization of the "THERS DU Plan" NU Information Sys
- 2021.9.6 名大生協において対面での問い合わせ窓口を開設し

名古屋大学ID(名大ID)

- 名古屋大学の全構成員に付与される生涯変わらないID
- 名古屋大学内の情報機器/サービスを利用するのに必須だった
 - まだNUWNET(全学無線LAN)で利用
 - 今年度中に別体系ID/passへ
 - 機構アカウントは長いのと、容易にID/passを複数回試行できる無線LANは安全のために別体系ID/passへ
 - 表に出ているシステムではほぼ使われなくなった

<http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/nuid/>
(検索キー: 名大ID)

ホーム > 情報サービス一覧 > 名古屋大学ID

名古屋大学ID

名古屋大学教職員, 学生, 同窓生, OBの皆さんへ

名古屋大学が提供する情報サービスを利用するための利用者識別名 (ID) に導入いたしました。名古屋大学IDは名古屋大学のすべての構成員に付与されます。

(最終更新日: 2013年9月19日)

更新情報

- 「パスワード再発行申請書」を更新しました (2017年2月20日)
- 「パスワード再発行申請書」英語版を更新しました (2013年9月)
- 「パスワード再発行申請書」を更新しました (2012年7月12日)
- 「名古屋大学IDの通知方法」を更新しました (2011年4月7日)
- 「名古屋大学ID返却について」を掲載しました (2010年8月2日)
- 組織変更に伴う旧組織名称の変更を反映しました (2009年5月11日)
- 名古屋大学ID発行請求届/登録情報更新届 を掲載しました (2009年)
- 「名古屋大学認証基盤サービスの利用申請」を掲載しました (2009年)
- 「名古屋大学ID (全学ID) を利用している情報サービス」を更新
- 「名古屋大学IDに関するQ&Aを掲載しました」 (2008年1月22日)
- 「名古屋大学IDによる認証サービスを開始しました」 (2008年1月)

メニュー

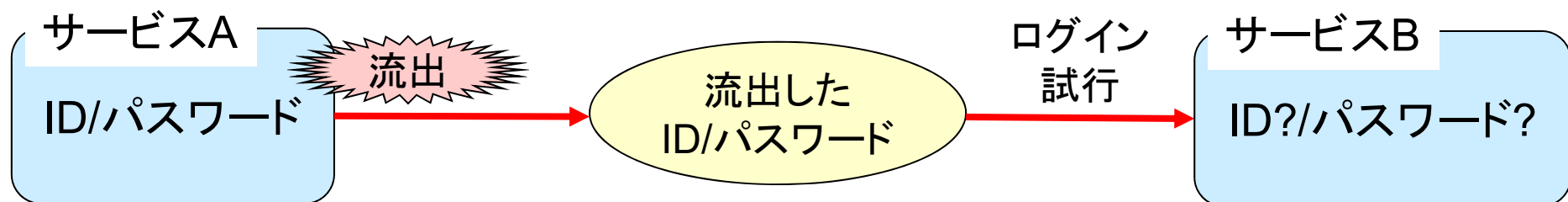
- 「全学ID」から「名古屋大学ID」への移行について
- 名古屋大学IDの付与対象者

ID管理上の注意

- IDは**他人に使わせない**
- パスワードは安全かつ入力に手間取らないものを設定
 - **他のサービスと共有しない**
 - 十分な長さを持つこと(最低12文字、できれば16文字は欲しい)
 - 単語や日付/時間ベース数字など、容易に推測される部分は最小化
 - 小文字大文字数字を組み合わせる(記号は入力容易性も考えて)
- 悪いことをしようと考えている人にとって、名古屋大学関係者のIDは思っているよりも価値があります
 - 名大内の人間のふりをして他人を騙す(主にメールで)
 - 標的型攻撃のメール送信元になる
 - spam(迷惑メール)をばらまく
 - 名大が契約している電子ジャーナルをダウンロードしまくる
 - 外部への攻撃の踏み台に利用する

パスワード共有の危険性

- 各IDのパスワードは、**他のサービスと共用しないで下さい**
- 最近、情報流出させたサービスのID/パスワードを他のサービスで使う攻撃がよく見られます
 - パスワードをハッシュ化しないで保存しているサービスもまだある
 - 2019/1の宅ファイル便のパスワード(他)流出で話題となった
 - 最近のダークウェブでは流用OK確認済みで売られているらしい
- 複数(3桁数)のサービスを利用して、個々に長いパスワードを覚えるのは無理がある
 - パスワードマネージャの利用を推奨

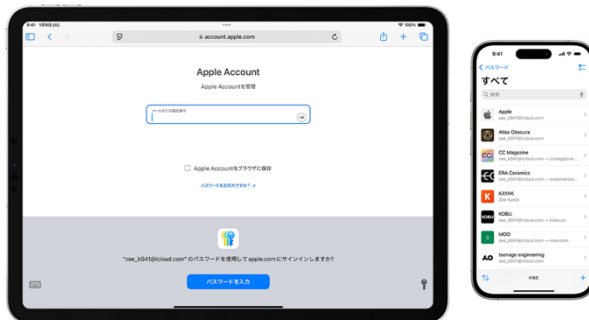


パスワードマネージャ利用の推奨

- 12文字超のパスワードを個々のサイトごとに準備は大変
- パスワードマネージャは「入力先のWebサイトのURL」も確認して自動入力するので、偽サイト対策にも有用
- 何使えば良いか迷ったら、大手スマートフォン用OS提供メーカー純正品を使えば良い

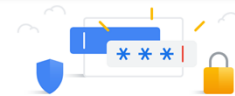
Apple パスワードアプリ
パスワードアプリでパスワードやパスキーを作成・管理し、Apple製デバイス間で共有する

パスワードアプリを使うと、アカウントのパスワード、パスキー、Wi-Fiパスワード、確認コードのすべてに、一つの場所から簡単にアクセスできます。パスワードアプリは、iCloudキーチェーンを使ってデバイス間で認証情報を管理するのにも役立ち、安全性が低い可能性のあるパスワードに関して警告してくれます。



Google パスワードマネージャ

パスワードマネージャ



パスワードマネージャへようこそ

AndroidやChromeに保存したパスワードを管理できます。パスワードはGoogleアカウントに安全に保存され、すべてのデバイスでご利用いただけます。



パスワードチェックアップ

保存したパスワードの安全度とセキュリティを確認しましょう。不正使用さ

- (とはいえ、共有パスワードとか作らないといけない局面はあるので...)

良いパスワード作成のヒント(1/2)

基本的な構成のネタ

- 英語で適当な文を作ってその頭文字語から変形
 - 固有名詞などの頭文字だけ大文字にするとか
 - 数字や記号と似ているアルファベットを置換
 - 「P@assw0rd」のような単語中のアルファベットをそのまま数字/記号に置き換えるのは駄目
 - 例: Coronavirus Disease 19 is Quite a Huge Threat
 - CD19iQaHT (大文字打つの大変なので逆転)
 - cd19lqAht (必要なら一部を記号や数字に置き換え)
 - 厳密に言えば、年号が入るのは好ましくないが少し妥協
 - パスワード文字数上限が十分に多ければ、文そのままでもOK
- 身近なアルファベット+数字の羅列で覚えやすい物の流用
 - 例: 自分の周りで特有ないろいろな物品の型番
 - そのままだと少しひねる

良いパスワード作成のヒント(2/2)

部分的な構成の強化ネタ

- 最近では文字数が多いので、部分列を複数作って繋ぐのが楽
- 記号や数字は形状(leet表記)や語呂合わせで入れる
- 長さ稼ぎに多少の共通の部分列を作って組み込む妥協も
 - 良くは無いが、短すぎたりパスワード全体を共用するよりはマシ
- 入力しやすさを考えて右手と左手の順番やバランスを考慮
 - 素早く入力できるパスワードは入力時の手元覗き見に対して強い

絶対にやるな!

- IDや名前や単語を含める
- 3,4文字以上の連続した数字(長さの割に強度が上がらない)

短いパスワード長の危険性

- コンピュータの能力の向上とともに、パスワード破りは容易に
- 最近では、大文字小文字数字混じりで最低12文字は欲しい
 - 記号は入力面倒(特にスマホ)で「最後の1文字を記号にする」落ちが増えるだけなので、記号を入れる代わりに1文字増やす方が良い
- 参考: 2022年の時点で、GPGPUを使って8文字のランダムパスワードは1日以内の総当り攻撃で解ける[1]
 - 総当り攻撃の原理は、後の認証の話でやります
- 最近では、パスワード側を「よくあるパスワード(+α)」に固定し、ID側を変化させるパスワードスプレー攻撃も流行中
- いわゆるAIを用いて「流出パスワードからパスワード生成の癖を学習する」パスワード解析話も[2]

[1] <https://devblog.lac.co.jp/entry/20220513/>

[2] <https://pc.watch.impress.co.jp/docs/news/1492292.html>

パスワードの定期更新について

- 一部のサイトではパスワードの定期更新を要求されますが、もうかなり前に「意味がないどころか有害」となった
 - 悪人が破った(盗んだ)パスワードをしばらくこっそりと使うことが前提
 - 余裕が無い時に定期更新を要求して安易な物にされる害の方が大
 - 言ってくるサイトはセキュリティの意識が低いと考えて良い
 - 最近、パズル認証(認証の答えが同一ページにある)とか、こいつのお仲間が増えているのが頭が痛いところ
- 一応、盗聴などを目的として、悪人が破った(盗んだ)パスワードをしばらくこっそりと使うことの事例は0ではないが...
 - 検出には利用履歴やログイン履歴を時々チェックする方が確実
- 基本「パスワード漏洩のニュースがあったらすぐ変更」でOK
- なお、「パスワードを変更して下さい」の偽メールには注意
 - メール中のURLは触らず、サービスのトップページから確認と対応

Q: パスワードはどこかに記録して良いのか?

A: はい。むしろ、記録すること前提で、パスワードを強くした方が総合的なリスクは低くなる

- 現在はID/パスワードを必要とする情報サービスが多すぎて、十分な強さの個別パスワードを全部覚えるのは無理ゲー
- 「覚えなといけない」に注力して、使い回し、短いパスワード、他パスワードとの共通部分増加の方がリスクが高い

ただし、記録したパスワードは厳重に管理して、絶対に他人に見られないようにすること

- パスワードリスト自体に鍵をかけること必須
- 嶋田は多少の難読化(次スライド)をした上で電子データにした上でパスワードをかけている
- カメラの能力向上に伴い、閲覧中の映り込みリスクにも注意

パスワード管理の工夫

- パスワードマネージャの利用が一番好ましい
 - パスワードマネージャの脆弱性や狙った攻撃もあるので注意
 - ちゃんとセキュリティアップデートを適用
 - 昔は「クラウドにパスワードを(緩い暗号化のもとで)保存して流出」なダメ製品もあったりはした
 - 今は、大手の物を使っていれば大丈夫だし、リスクを最小化できる
- 汎用性の点では、自前で暗号化したファイルでの保存もあり(共有物のパスワードとか)
 - ただし、パスワードをそのまま書くとうっかり見られた(写真を取られた)時にリスクになるので、多少難読化するなど工夫する
 - 1,2文字を伏せ字にしたり特定の文字列に置き換えたり
 - 冒頭や後ろに特定の文字列の追加を必要とする

機構アカウント/名大IDの多要素認証

- 現在の情報セキュリティ事情では、ID/パスワードだけの認証は不十分
 - phishingメールの文面はどんどん進化し、注意していても(疲れている時とかに)うっかりID/パスワードを入力してしまうことは起こりうる
- 学生だから認証破られても被害は少ないのでは？
→成績や失敗レポートの暴露型攻撃も起こりうるのでは？
- 機構アカウントの多要素認証
 - OATH-TOTP 30秒更新の6桁数字、電話、SMS、~~MS Authenticator~~によるFIDOもどき
 - 以前は「アプリ上に出た認証承認ボタンを押す」も対応してたが、反射的に押すことの危険性から中止
- 名大IDの多要素認証(OATH-TOTP 30秒更新)
 - 共通規格なので、いろいろな認証補助の実装があります

種々の情報サービス利用の権利を持つことになるが、同時に義務もあります

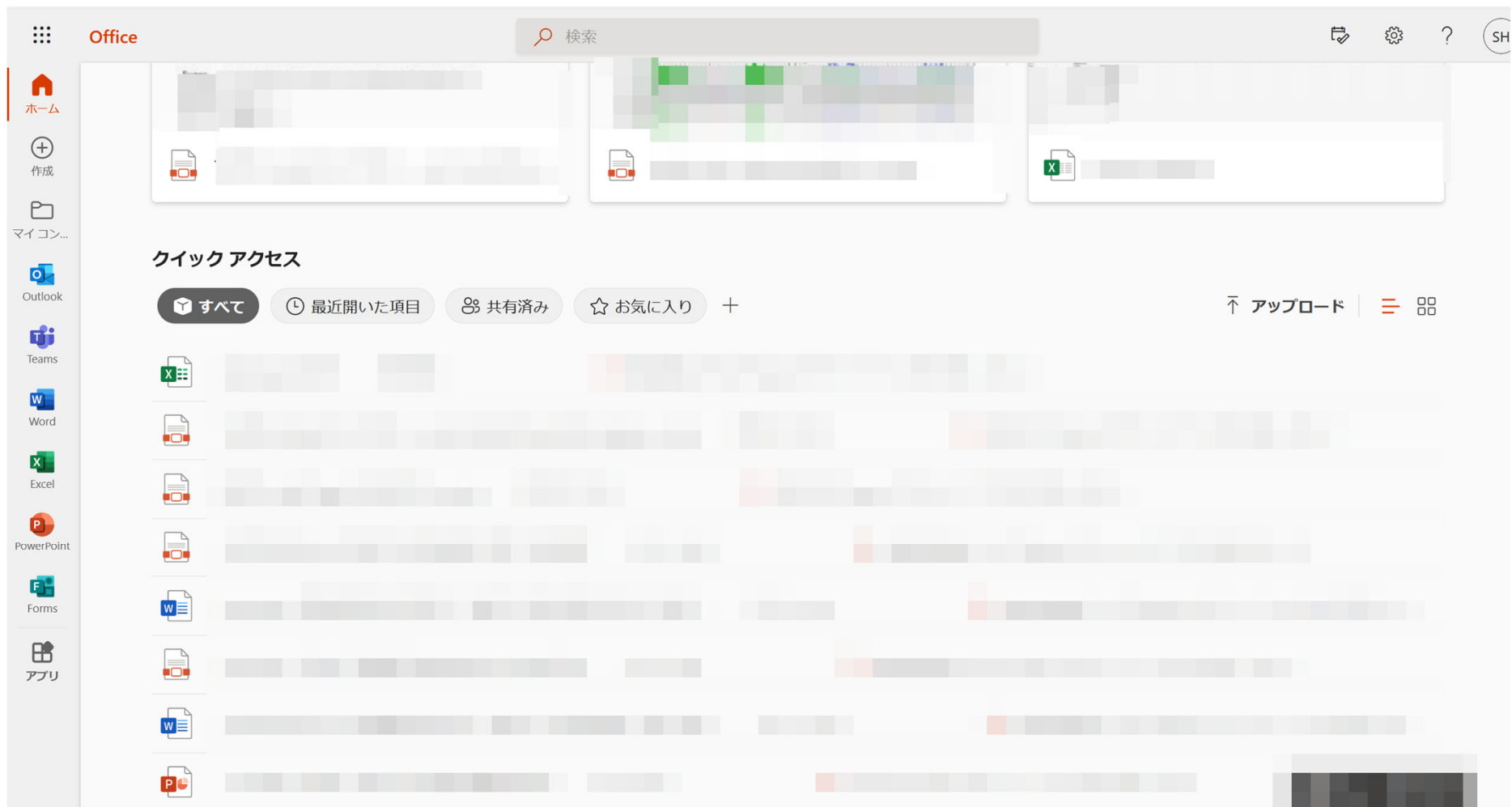
- 情報の発信はくれぐれも慎重に(次回の内容)
 - 情報発信の自由度は増しているが、関連する義務もちゃんと押さえる
 - 禁止事例: 著作権/プライバシーなどの権利の侵害、誹謗や中傷、不正アクセス、目的外への乱用、spam送信、など
- 名古屋大学情報セキュリティガイドライン
 - 名古屋大学では、全構成員が守るべきガイドライン(実践的な話)
<http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/ja/security/guideline.html> (検索キー = 項目名)
- 名古屋大学情報セキュリティポリシー
 - どのような形で情報セキュリティに取り組むかという考え方
<http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/ja/security/policy.html> (検索キー = 項目名)
- 年次情報セキュリティ研修の実施

概要

- 機構アカウント/名古屋大学ID
 - 現状のアカウント体系
 - パスワード管理について
- 機構契約のMicrosoft 365サービス
 - Office 365の利用
 - 機構メールサービス
 - Microsoft Teams
- 利用可能な計算機システム
 - 全学的な情報メディア教育システム
 - 情報学部の計算機システム
- その他の情報連携推進本部のサービス
- 名古屋大学図書館のサービス

Microsoft 365(旧Office 365)

- Web版MS Office + メールアカウント + 他クラウドサービス



Microsoft 365の包括契約

- 東海国立大学機構として包括契約を結んでいる[1]
 - 大規模教育機関向け総合サービス(EES: Enrollment for Education Solutions)で契約
- 学生は「Microsoft 365 Education A3 Student」のプランで契約している
 - 提供される機能などの情報を検索する時は、上記の仕様を対象にしているか要確認
 - A1, A3, A5の3種類のプランがある[2]

[1] Microsoft包括ライセンス契約について

<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/ms365complicense/>

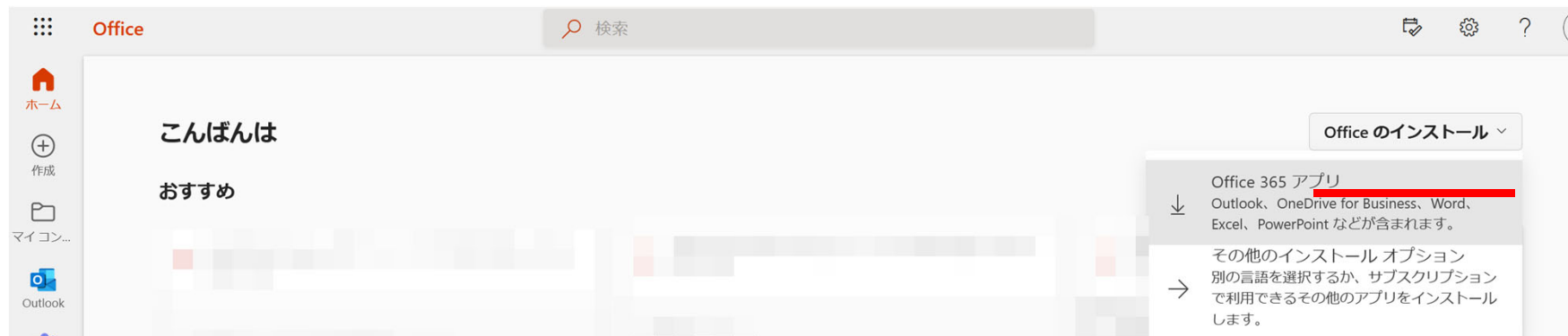
[2] <https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/academic/compare-office-365-education-plans>

Microsoft 365の包括契約で使える物のお勧め

- Office 365: Webアプリ版と端末にインストールするアプリ版
- OneDrive: 個人用オンラインストレージ(容量制限50GB)
- Stream: 動画編集アプリ
- SharePoint: グループ内ファイル共有用ストレージ
- 機構メールアドレスサービス
 - meidai.taro.(2文字)@(1文字).mail.nagoya-u.ac.jpの形式へのメールアドレスも付与
 - 基本的にこちらが表に出るようにメールクライアントを設定すること
 - Webメールは「脈絡なくGB2312という古い中国語の文字コードで日本語を送って受信した側で文字化けを起こす」不良品なので、信頼できるメールクライアントアプリケーションの利用を強く推奨する
- Windows 11 Educationのインストール権
 - MacのBootCampに入れる or Windows 11 Homeからのアップグレードの形のみ(まささら状態からインストールはダメ)

Office 365アプリの端末へのインストール

- 機構アカウントの契約で端末にOffice 365アプリをインストール可能[1]
 - Web版Office 365のホーム画面にインストール案内が出る
- PC5台、スマホ5台、タブレット5台にインストール可能
- 機構アカウントでアクティベーションを忘れずに



[1] パソコン, スマートフォン, タブレットでのOffice 365利用法
<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/thersoffice365/>

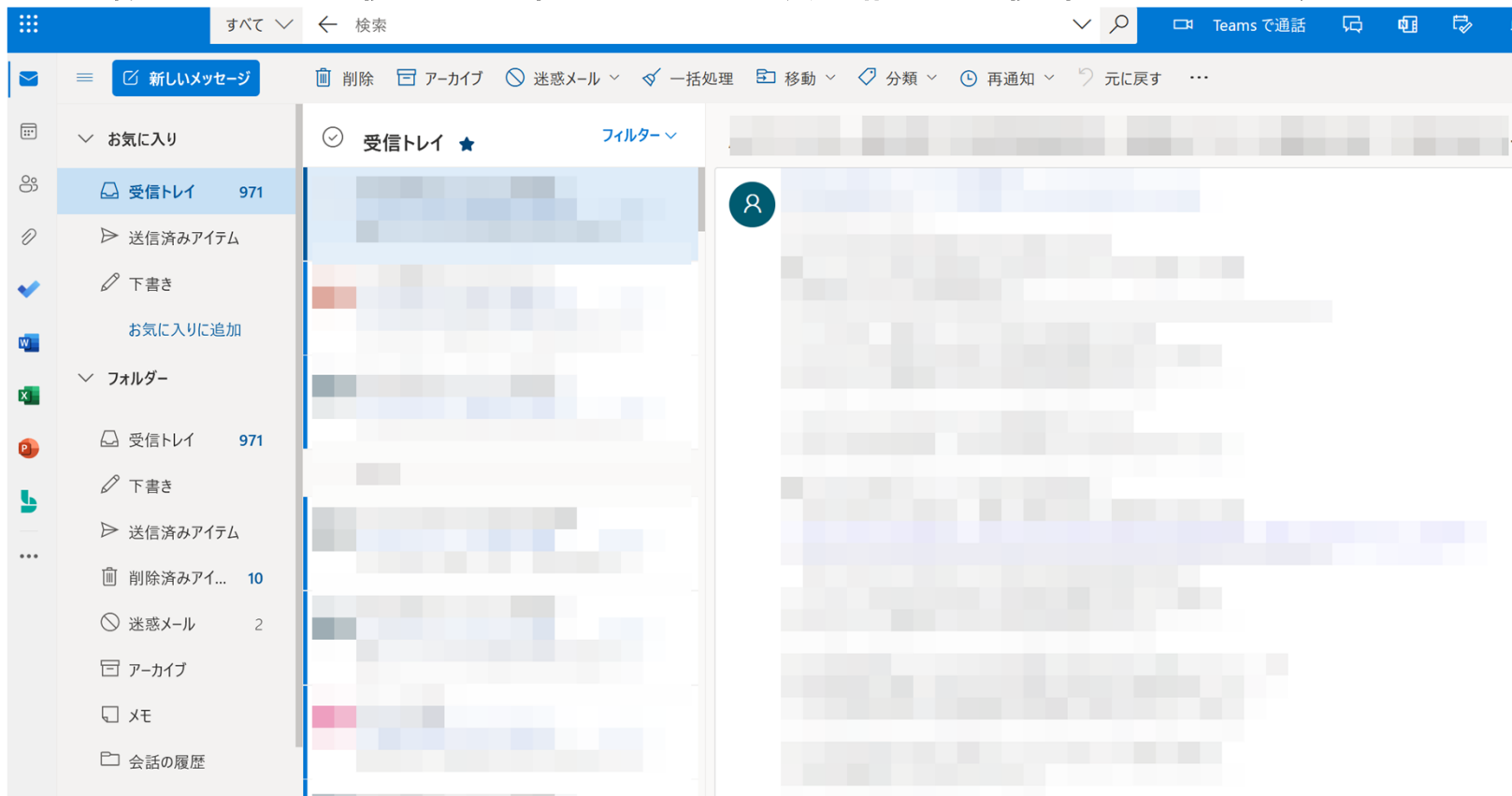
機構メールサービス

- 機構メールアカウントにひもづいたメールアドレス提供
 - 書式はfamilyname.firstname.(2文字)@(1文字).mail.nagoya-u.ac.jp
 - (1文字)の部分は、aからkのアルファベット(同姓同名対策その1)
 - (2文字)の部分は、アルファベットか数字 (同姓同名対策その2と推測攻撃対策)
 - 機構アカウント自体もメールアドレスとして使えるが、**相手側にログインアカウントを教えることになるので使わないこと**
- 受信者から「名大所属者からのメール」ということが分かるので、名大所属者としての公式さが必要な用途に使って下さい
- 転送設定をすることも可能(→)



機構Webメール(MS365のOutlook)

- よくあるWebメールのUIなので特に説明はしない
- 送信の欠陥(特に日本語をGB2312化で文字化け)に注意
 - 読むのには使っても問題ないが、送信には使わない方が良い



各種メールクライアントへの設定

PCやスマホの各種メールクライアントの送受信設定[1]

- 受信サーバ: outlook.office365.com
 - プロトコル: IMAP
 - ポート番号: 993
 - SSL: SSL/TLS
 - 認証方式: OAuth2
 - ユーザ名: 機構アカウント (メールアドレスでは無い点に注意!)
- 送信サーバ: smtp.office365.com
 - プロトコル: SMTP
 - サーバ: ポート番号: 587
 - SSL: STARTTLS
 - 認証方式: OAuth2
 - ユーザ名: 機構アカウント (メールアドレスでは無い点に注意!)

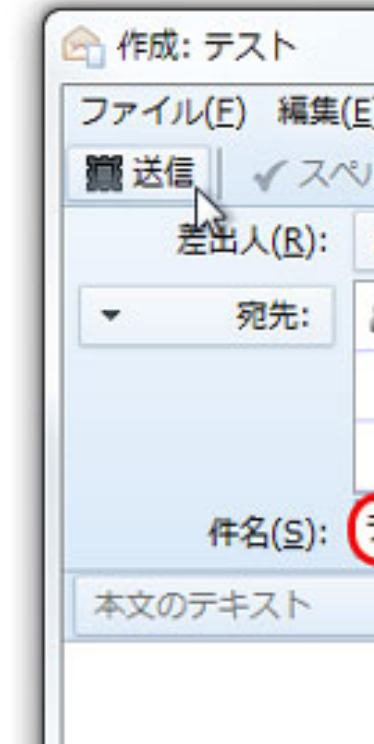
「アカウント追加」→「Office 365」からの作業で追加できるアプリも多い

[1] <https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/thersmail/#thunderbird>

標準的なメールの書き方

- 「宛先(To)」欄に送信先メールアドレスを記入
- 複数の送信先があるならば、下の空欄の冒頭をクリックして「宛先(To)」を追加
 - 内部的には、以下のようにカンマで区切られて送信
hoge@a.mbox.nagoya-u.ac.jp, bar@gmail.com
- 「件名(Subject)」の欄にメールのタイトルを入力する
 - 内容を表す件名を、短く表記する(かなり頭使う)
- 送りたいメッセージを書く
 - 標準的には、宛名、本文(所属と氏名から書き出す)、署名、の順で書く
- メッセージが完成したら**宛先を確認し**送信する

Mozilla Thunderbird
でメールを書く時の例



標準的なメールの書き方の例(テンプレ)

〇〇社 鈴木様

送信先の名前+敬称を書く(丁寧であると同時に、送信先を間違えた時、相手も間違いと分かりやすい)

名古屋大学XX学部の田中と申します。

自分を所属から紹介
(特に初送信時)

大学生を対象としたインターンシップの件につきまして
問い合わせをさせていただきます。
募集要項では……

簡潔かつ明瞭に内容を記述
(長くなる場合は最初に目的を明記)

(冒頭の挨拶、末尾の締め挨拶を
入れることも)

田中 宏 (Hiroshi Tanaka)
名古屋大学 XX学部 1年

定形の署名(signature)を作っておき、
メールクライアントに付けさせると便利

ダメor微妙なメールの例

この内容でその件名はダメでしょ

```
Subject: テストメール
To: shimada@itc.nagoya-u.ac.jp
X-Mailer: Outlook for iOS and Android
X-Mew: Text/Plain in Multipart/Alternative as a singlepa

情報学部嶋田先生

自然情報学科のXX XXと申します

全学メールアカウントの設定が完了しました

名大ポータルから情報セキュリティ自己点検も完了しました

XX XX (xx xx)
```

何の報告ですか?(件名)

```
Subject: ご報告いたします。
To: shimada@itc.nagoya-u.ac.jp
User-Agent: Roundcube Webmail/1.1.7

名古屋大学 嶋田先生

名古屋大学情報学部コンピュータ科学科 1年のXXと申します

情報セキュリティとリテラシ1の講義につきまして、
を設定し情報セキュリティ自己点検を完了しましたこと

-----
XX XX (xx xx)
```

書く量を減らそうとして(簡潔に書こうとして)、
意味が通らないレベルの本文になっている?

```
Subject: 情報セキュリティ自己点検
To: shimada@itc.nagoya-u.ac.jp
User-Agent: Roundcube Webmail/1.1.7

学生番号----- XXです
情報セキュリティの授業における全学メールの自己点検です

[End of message]
```

例年、1-2割ほど要再提出対象に

(本文の報告内容が足りていない) (漢字の間違い)
(先生なら敬称は「XX先生」の方が良い)

```
Subject: 全学メールアドレス登録完了について
To: "shimada@itc.nagoya-u.ac.jp" <shimada@itc.nagoya-u.ac.jp>
Importance: normal
X-Mew: Text/Plain in Multipart/Alternative as a singlepa

島田創 様
名古屋大学情報学部 学生番号 ----- のXX XXです。

全学メールアドレスの登録が完了しました。

[End of message]
```

送信先に関連した情報

- 宛先(To)フィールド

- 列挙した場合、送信先同士に宛先が分かる点に注意 (Ccも同様)

- 最近、これによる他人メールアドレス流出謝罪が多い

- 件名(Subject)フィールド

- Cc(carbon copy)フィールド

- 「参考までに情報を送る」という相手に利用

- Bcc(blind carbon copy)フィールド

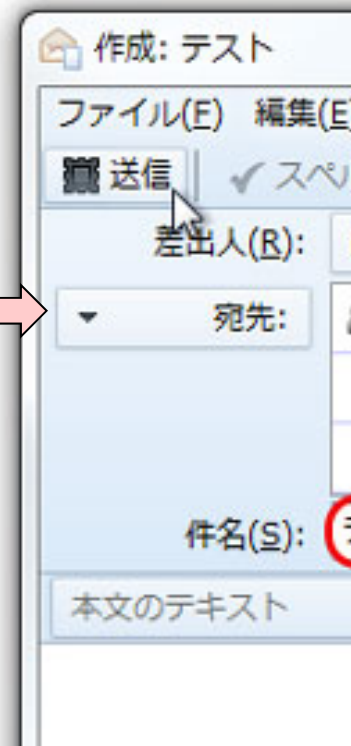
- 送信先同士で宛先が分かって欲しくない場合に利用

- Reply-Toフィールド

- 返信時に別メールアドレスを指定したい場合に利用

Mozilla Thunderbird
でメールを書く時の例

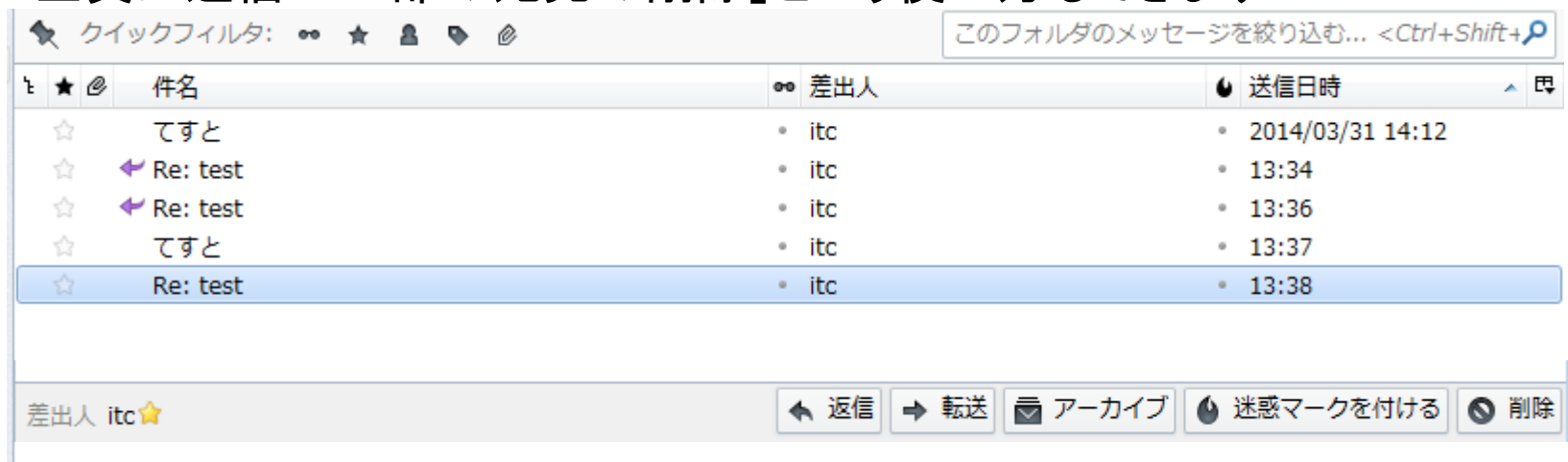
ドロップダウン
ボックスで
変更可能



注: 以下、Mozilla Thunderbirdの利用の参考

返信

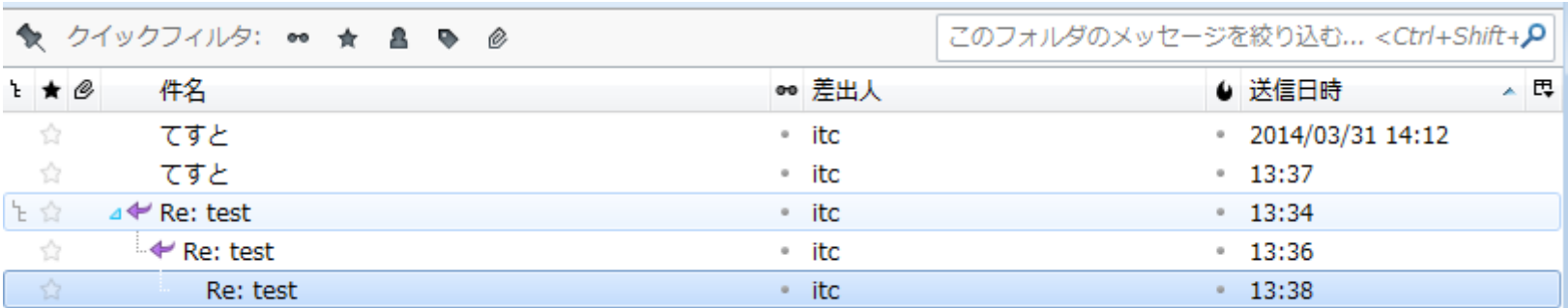
- メールに対して返信する場合、**新規作成ではなく、「返信」を選択して作成**
 - メールに「In-Reply-To」という「どのメールに対する返信か」という情報が付加される
- 「返信」と「全員に返信」という選択肢が出る場合もあります
 - 宛先が複数人に渡るメールの受信時に出る
 - 業務メールだと、特に理由の無い限り「全員に返信」が基本となる
 - 「全員に返信→一部の宛先の削除」という使い方もできます



返信とスレッド表示

- 「返信」でメールを返信した場合、メール内に返信情報が追加されます
- スレッド表示にすることで、返信履歴を強調した一覧表示にできます
- 返信すると「Re:」が件名に追加されます
 - ラテン語のre(～について)が由来
 - 話題が変わったら「新話題(Was:...)」にするなど、派生した使い方もいろいろあり

スレッド表示への切り替え



件名	差出人	送信日時
テスト	• itc	• 2014/03/31 14:12
テスト	• itc	• 13:37
Re: test	• itc	• 13:34
Re: test	• itc	• 13:36
Re: test	• itc	• 13:38

メール送受信で注意すること

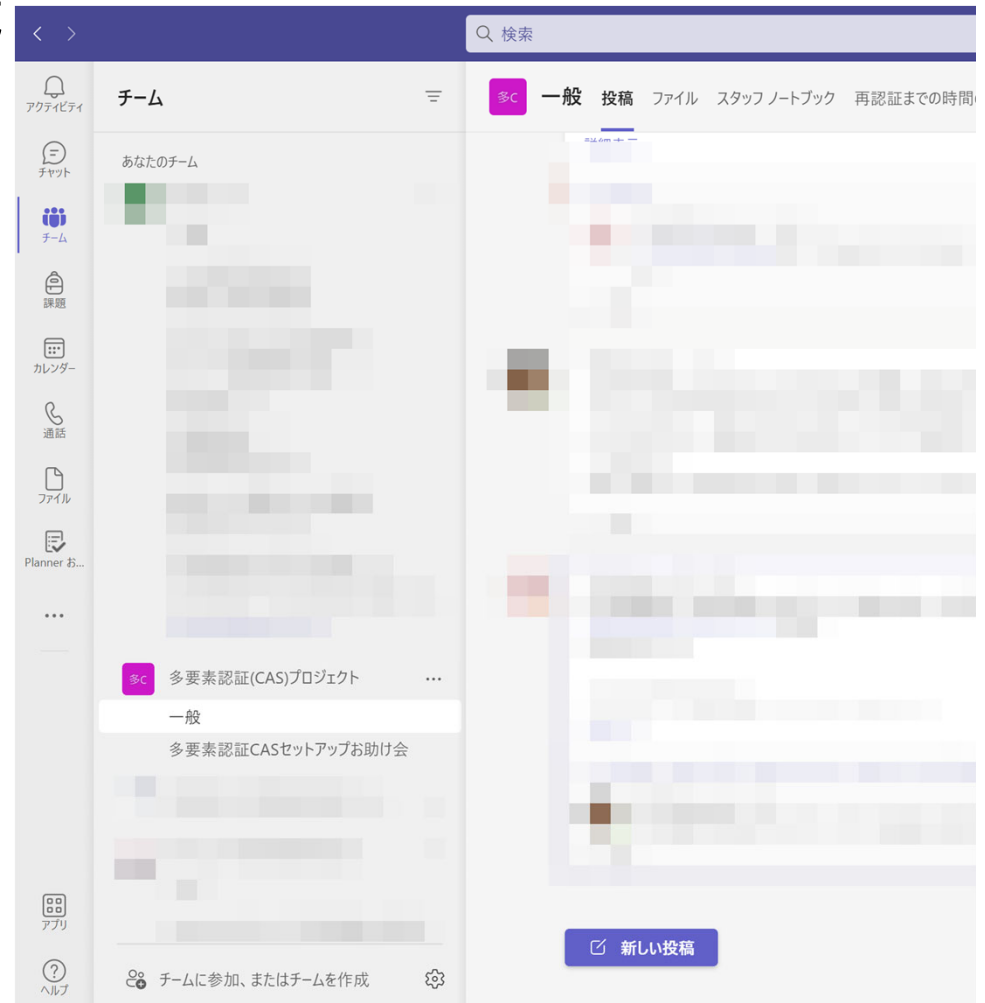
- その送信先をTo(宛先)やCcに列挙して大丈夫?
 - 他の受信者のメールアドレスが見えてしまう
 - これで(個人)情報漏洩(個人のメールアドレス)をやらかす事例も多い
 - 必要に応じてBccを使いましょう
- マルウェア(コンピュータウイルス)
 - メールサーバ側でもチェックはしているが、検出率は下がる傾向にある
 - そもそも暗号化されているとチェックできない
 - うっかり転送すると、あなたがマルウェア送信者に見えるので注意
 - というか、大学のメールサーバがマルウェア送信サーバになるので、メールの転送設定には注意

Microsoft Teams

- オンライン会議機能があるため、オンライン会議を行う時に利用が推奨されている
- 「チーム」と呼ばれるグループを作って、その中でチャットやオンラインストレージで情報共有する使い方が基本
- 普通の1対1チャットやグループチャット機能もあるし、課題管理機能もあるし、機能拡張もある
- ブラウザ上でも動くが、アプリを入れたほうがブラウザを占有されなくて便利
 - 個人的には、オンラインストレージ機能はブラウザ上でSharePoint使った方が自由度が高くて便利
 - 昔は組織用と個人用の2種類のTeamsアプリがあってトラブルの元となっていたが、2024年に統合されて問題は解消した

Microsoft Teams チーム機能

- チームとチームメンバを組織して、チャット(投稿)やファイル共有を利用して業務推進
 - チームの中にさらに細かくチャンネル分けすることも可能
- タブにファイルを貼り付けること可能
 - 貼り付けたファイルをメンバ間で非同期で編集可能
 - 例: Excelファイルをタブに貼りつけてチームメンバで編集



Teamsでチーム作成とチームメンバ招待方法

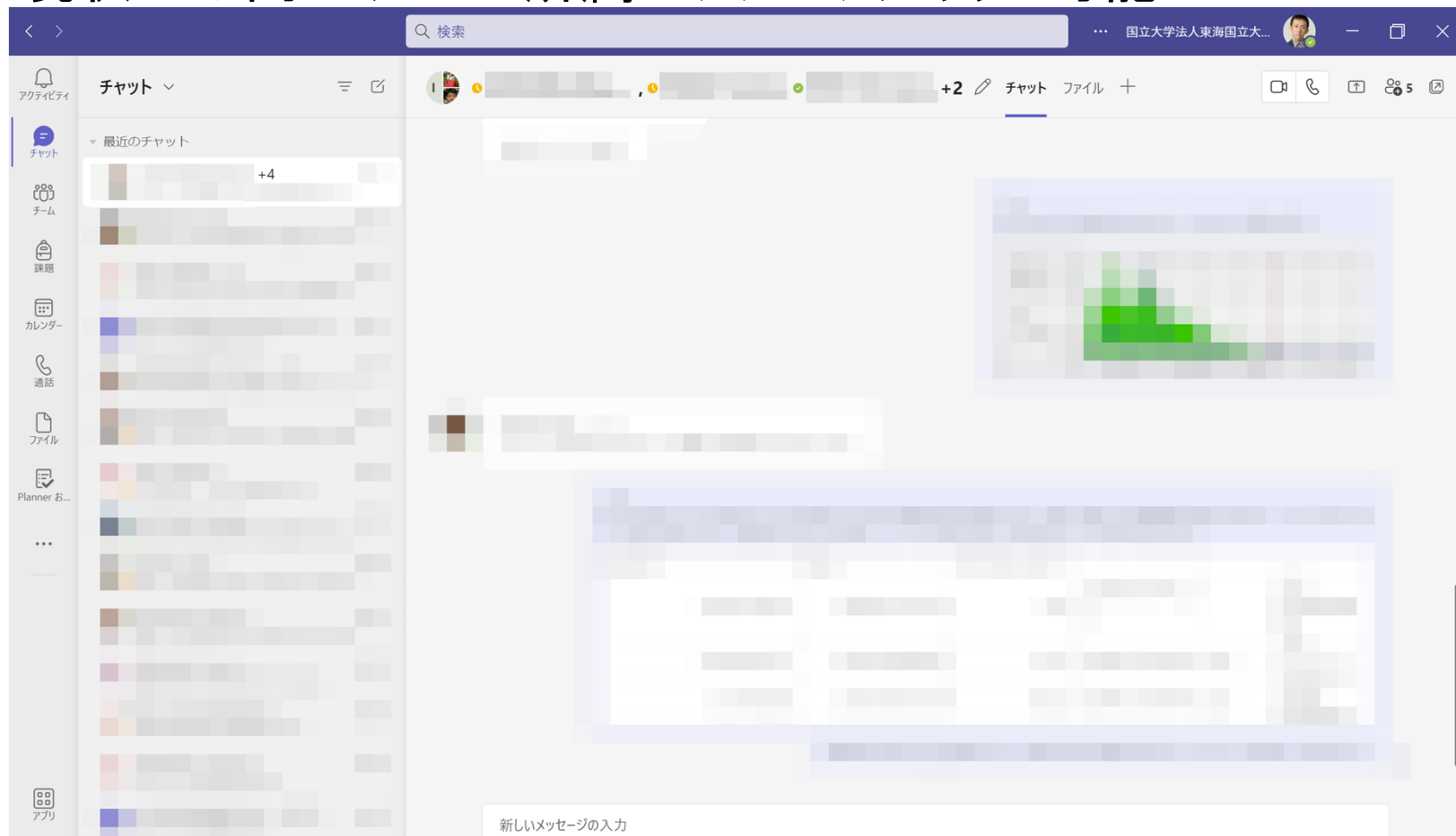
- Teamsには組織のメンバを検索する機能があるが、名古屋大学では検索範囲を制限している[1]
 - 基本的に学生は検索ができない (同一チームにいる人のみ検索可)
 - ストーキングとかの犯罪に使われる可能性を考えての制限
 - 会社とかでも、オンライン会議システムのメッセージのプライベートメッセージ機能を使ったハラスメント案件はしばしば発生している
- チーム参加用コードを用いてチームメンバを組織する
 - チームを作成する
 - チーム参加用コードを作成する([1]の下方に案内あり)
 - 参加予定者にチーム参加用コードを渡して参加してもらう

[1] Teamsにおけるユーザ検索機能の制限について

<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/teams-search-rule.html>

Microsoft Teams チャット機能

- 1対1チャットだけではなく、グループチャットも対応
- 現状では同一チーム所属の人のみチャット可能



Microsoft Teams オンライン会議機能

- カレンダーの「新規」→「イベント」で設定可能
 - URLで外部の人にもオンライン会議を通知
- チームの「会議」の所からも開始orスケジュール可能



Microsoft Teams アプリによる拡張

- ひょっとしたら、やりたい処理を実装したアプリがあるかも？

The screenshot displays the Microsoft Teams application interface. The top navigation bar includes a search bar and the user's profile. The left sidebar shows navigation options like 'アクティビティ', 'チャット', 'チーム', '課題', 'カレンダー', '通話', 'ファイル', and 'Planner'. The main content area is titled 'アプリ' (Apps) and features a search bar and a list of installed apps. A search overlay is visible, showing a grid of apps including 'Edu Staff Notebook', 'ソフト', 'OneNote', 'Edu Class Notebook', 'Wiki', 'Stream', 'Insights', 'Power Automate', 'Viva インサイト', 'Viva ラーニング', and '承認'. Below the search overlay, there are sections for 'ワークフロー' and 'アプリを管理'. The right side of the interface shows a banner for 'アプリをさらに活用しましょう!' (Use apps even more!) and two columns of '組織で人気' (Popular in organization) and 'Teams で人気' (Popular in Teams) apps. The '組織で人気' section lists apps like '称賛', 'チャネルカレンダー', and 'Adobe Acrobat'. The 'Teams で人気' section lists apps like '称賛', 'コミュニティ', and 'Power BI'. The bottom right corner shows the 'Microsoft' logo and a 'すべて表示' (Show all) link.

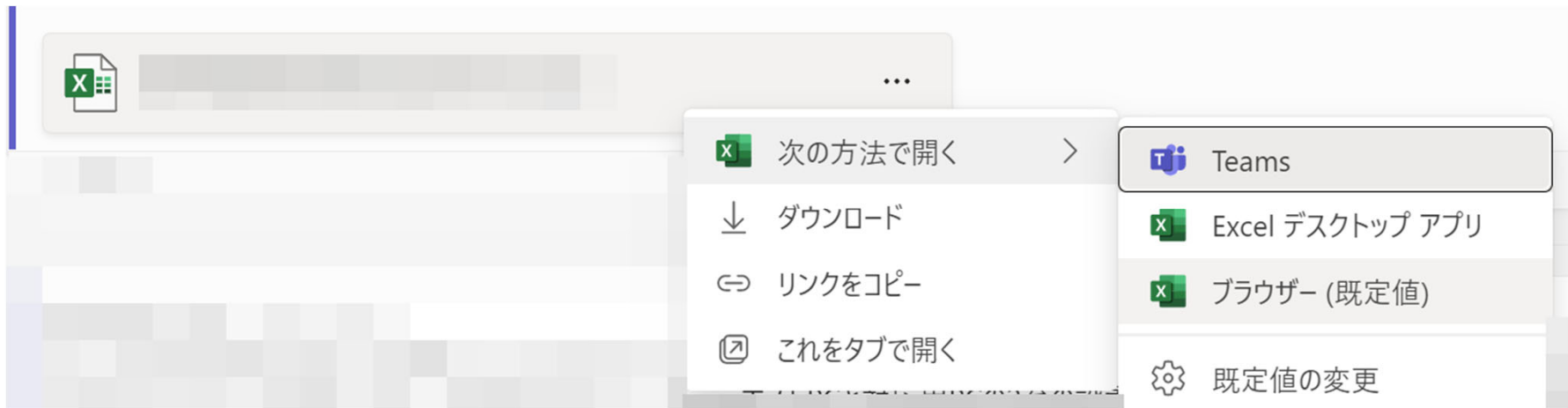
SharePoint(1/2)

- ブラウザのタブ機能を使って複数のフォルダ(ディレクトリ)を同時に開くことができるので、個人的に重宝している

The screenshot displays the SharePoint user interface. At the top, there is a blue header bar with the 'SharePoint' logo on the left and a search bar on the right containing the text 'このライブラリを検索'. Below the header, a navigation pane on the left lists various site components: ホーム, スレッド, ドキュメント (highlighted), 自分たちと共有, ノートブック, ページ, サイトコンテンツ, ごみ箱, and 編集. The main content area shows a document library view for a folder named 'General'. At the top of this view, there are several action buttons: '+ 新規', 'アップロード', 'グリッドビューでの編集', '共有', 'リンクをコピー', '同期', and 'ダウンロード'. Below these buttons, the library is displayed as a table with columns for '名前', '更新日時', and '更新者', along with a '+ 列の追加' button. The table contains several rows of document entries, each with a document icon, a name, and update information.

SharePoint(2/2)

- Teamsアプリからファイルを開く方法で、既定値を変更することでSharePointで開かせることができる



概要

- 機構アカウント/名古屋大学ID
 - 現状のアカウント体系
 - パスワード管理について
- 機構契約のMicrosoft 365サービス
 - Office 365の利用
 - 機構メールサービス
 - Microsoft Teams
- 利用可能な計算機システム
 - 全学的な情報メディア教育システム
 - 情報学部の計算機システム
- その他の情報連携推進本部のサービス
- 名古屋大学図書館のサービス

情報学部学生が使える計算機システム

- メディアセンター端末

- 情報基盤センターが全学に提供する

<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/media/>

(検索キー: 名大 メディアセンター)

- ICE計算機システム

- コンピュータ科学科の計算機システム

<http://www.ice.nuie.nagoya-u.ac.jp/> (検索キー: 名大 ICE)

- SISラボ計算機システム

- 自然情報学科、人間・社会情報学科の計算機システム

<http://www.sis.nagoya-u.ac.jp/lab/> (検索キー: 名大 SISラボ)

2026年3月から新しくなったので古い情報に注意

ただし、上記3種類の計算機システムはアカウントごとのデータを共有していない(別サービス)

メディアセンター端末(1/2)

- Bring Your Own Device(BYOD)化で端末設置場所は全学教育棟と中央図書館と大幸キャンパス保健学科本館のみ
 - 中央図書館の端末は土日にも使えます
 - **端末部屋では飲食物開封厳禁**(特に、飲み物が床下配線までこぼれると後始末がすごく大変)

全学教育棟のサブラボA



中央図書館の多目的ラーニングエリア

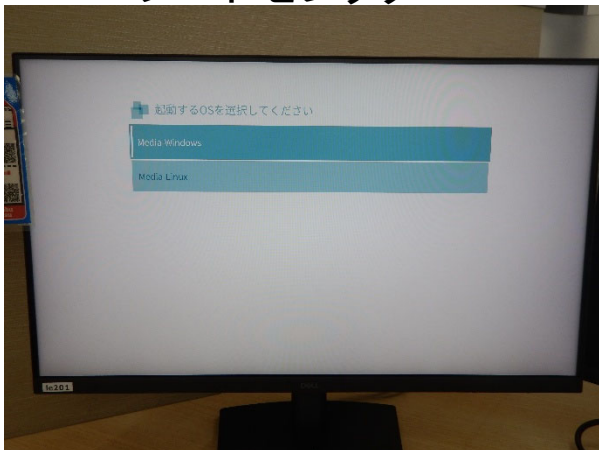


メディアセンター端末(2/2)

詳細: <https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/media/system/outline.html>

- 2026/3に新しくなったので古い情報に注意
- Windows 11とAlma Linux 9のデュアルブート端末
 - 一部の講義で使うソフトウェアがインストールされている
- Windowsについては、VDI(Virtual Desktop Infrastructure)でも利用可能(最大300台)
 - 詳細: <https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/media/use/winvdi.html>

ブートセレクト



Alma Linux 9



Windows 11



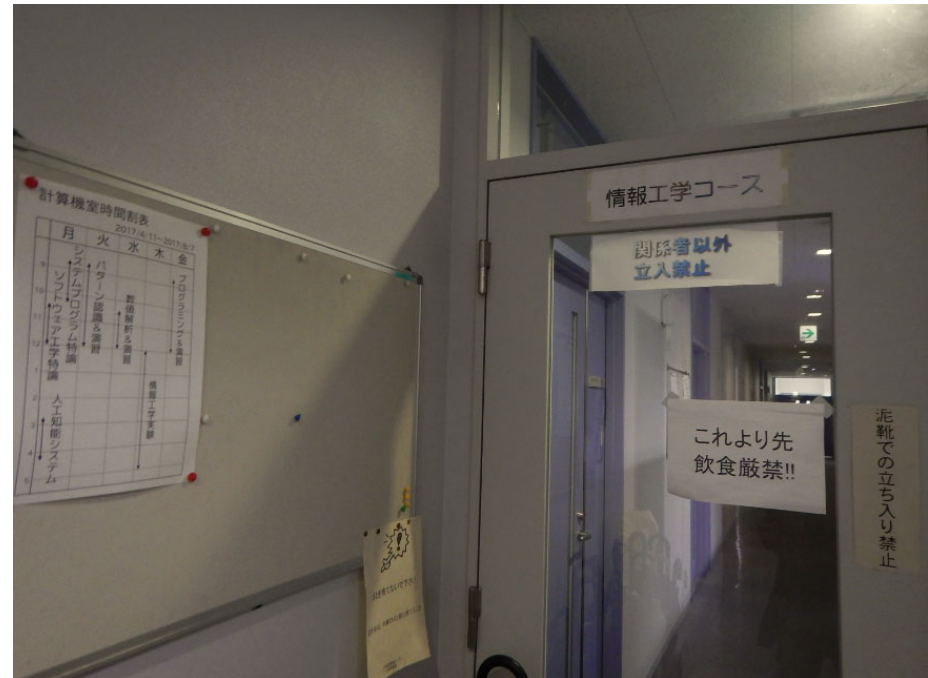
ICE計算機システム(1/3)

- コンピュータ科学科の計算機システム
- IB電子情報館南棟2F東側に存在
- 技官の方(283号室)が管理

IB南棟2F入口ホールより東方面



ICE計算機システム方面入口



ICE計算機システム(2/3)

- 端末の仕様
 - Alma Linux 9.5
 - デスクトップは初期設定でGNOME
 - 現状、Waylandで動かすとうまく動かないことが多いのでXorg推奨
 - コンピュータ科学科の演習や学生実験で利用

279演習室の端末



295演習室の端末



ICE計算機システム(3/3)

- 端末台数

- 295演習室: 70台程度
 - 285演習室: 30台程度
 - 279演習室(常時開放): 20台程度
- 279演習室以外は必要に応じて開放

295演習室



279演習室



SISラボ(1/2)

- 自然情報学科、人間・社会情報学科の計算機システム
- 共通教育棟3F中央北部に存在
- 技官の方(C353号室)が管理

共通教育棟3F中央北部の入口(赤い扉)



端末室

奥のBYODスペース



SISラボ(2/2)

- 教室にWindows/Linuxのデュアルブート端末: 80台
 - メディアセンター端末と同じ使用
 - 自然情報学科、人間・社会情報学科の演習や学生実験で利用
- 廊下やスタジオにMac端末があったが、無くなってBYODスペースと貸している

デュアルブート端末



入ってすぐのBYODスペース



ICEとSISラボの補足

- 情報セキュリティとリテラシ2から講義の場合はICEとSISラボへ
 - プログラミング演習とからめた講義
 - 学科ごとに分かれることになる
- ログインは機構アカウントとパスワード
 - 更新前までは名大IDでした(古い情報に注意)
- 必要に応じて技官の方にいろいろ質問可能
 - フリーウェアの追加とかの要望とかもお願いしやすい

概要

- 機構アカウント/名古屋大学ID
 - 現状のアカウント体系
 - パスワード管理について
- 機構契約のMicrosoft 365サービス
 - Office 365の利用
 - 機構メールサービス
 - Microsoft Teams
- 利用可能な計算機システム
 - 全学的な情報メディア教育システム
 - 情報学部の計算機システム
- その他の情報連携推進本部のサービス
- 名古屋大学図書館のサービス

情報連携推進本部のサービス(1/2)

- 名古屋大学ポータル
 - 履修登録/成績閲覧(厳密には情報連携推進本部管轄外)
- TACT(Tokai Academic Combination Tools)
 - 多くの講義で資料配布/レポート提出に使われます
- 全学無線LAN NUWNET(Nagoya University Wireless NETwork)
 - パソコンだけでなくスマートフォンやタブレット端末の接続も便利
 - 大学間連携無線LANのeduroamにより他大学等でも無線LANが利用可能に

<http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/>
(検索キー: 名大 情報サービス一覧)

情報連携推進本部のサービス(2/2)

- ITヘルプデスク
- (スーパーコンピュータシステム)
- (サイトライセンスソフトウェア)
- (情報メディア教育システム)
- @nagoya-u.jpのメールエイリアス
 - 自分の好きな@より前を設定できます
- 無くなってしまったサービス
 - 全学メールアカウント → 機構メールアカウントへ

名古屋大学ポータル

- 機構アカウントを利用する各種サービスの入口
 - 各種申請/各種アナウンスの受信など
 - 休講/補講や呼び出しの情報も掲載
 - ダッシュボードに細かなお知らせやカレンダー有り
- 一部の移動先サービスで名大ID認証を必要とされることあり

<https://portal.nagoya-u.ac.jp/>
(検索キー: 名大ポータル)

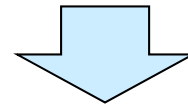
The screenshot shows the Nagoya University Portal (NUPORTAL) interface. At the top, there is a navigation bar with the logo and several menu items: '財務' (Finance), 'NUCT', and 'ダッシュボード' (Dashboard). Below the navigation bar is a large teal banner with the text 'お知らせ' (Notice). Underneath the banner, there are three news items, each with a date and a title:

- 2020/01/31** (総務部総務課): **新型コロナウイルス感染症について**. Text: 新型コロナウイルス感染が広がっていますのでご注意ください。本学における方針について本パネルをクリックして詳細を確認して下さい。
- 2020/03/16** (情報連携統括本部): **情報基盤を活用した新型コロナウイルス(COVID-19)対応について**. Text: 情報連携統括本部では、情報基盤を活用した新型コロナウイルス(COVID-19)対応について、情報を提供しております。本パネルをクリックして詳細を確認して下さい。
- 2019/04/01** (情報連携統括本部): **年次情報セキュリティチェック**. Text: 年次情報セキュリティチェックは毎年受講する必要があります。期限内に必ず実施するようにして下さい。

トップページには
重要アナウンスが

名大ポータル^oのTips

- サイトマップ表示後、ブラウザの検索機能で必要な機能を検索すると見つけやすい
 - 一番下までスクロールするとサイトマップへのリンクがある



名古屋大学ポータルのサイトマップ

1. 業務

1. e-learning 受講状況 ⊕
2. 学務
 1. 履修・成績 ⊕
 2. 履修・成績（登録日程・保守期間等） ⊕
 3. 時間割 ⊕
 4. 5段階の成績評価基準とGPA制度について（掲載日：2014/07/16） ⊕
 5. 教養教育院 ⊕
3. 教員DB (学内) ⊕
4. 事務手続
 1. 財務
 1. 財務会計システム(CAS版直リンク) (学内) ⊕

2. 情報サービス

1. 管理
 1. SAM (学内) ⊕
 2. IPDB
 1. IPアドレス管理システム ⊕
 2. IPDBあなたの管理端末一覧 ⊕
 3. IPDBアドレス登録確認 (学内) ⊕
 3. NUSS ⊕
2. セキュリティ
 1. 年次情報セキュリティチェック ⊕
 2. 情報セキュリティガイドライン ⊕
 3. 情報連携統括本部 お知らせ一覧 ⊕
 4. NICEに関する情報 (学内) ⊕

名大ポータルの便利機能

即便利なもの

- イベント入りカレンダー(ダッシュボード)
- 履修手続き(学務)
- 学生時間割(学務)
- 休講/補講情報(学務)

ダッシュボード

The screenshot shows the NUPORTAL Nagoya University dashboard. The top header features the NUPORTAL logo, a search icon, a notification bell with a red '3' badge, and a 'ログアウト' (Logout) button. The user's name 'SHIMADA Hajime' is displayed in the top left. The main content area is divided into two columns. The left column contains a 'お知らせ' (Notice) section with tabs for '新着' (New), '全て' (All), and 'お気に入り' (Favorites), and a '重要' (Important) badge. The right column contains a 'カレンダー' (Calendar) section with a '新規イベント' (New Event) button and a calendar grid showing '今日' (Today) and '予定' (Schedule). The bottom left corner shows the NUCT logo.

全学無線LAN NUWNET(Nagoya University Wireless NETWORK)

- 学内で見える無線LANのSSID「nuwnet1x (5GHz)」
「nuwnet1x」「nuwnet」に接続
 - 後ろに”1x”の追加があるIEEE 802.1x認証の利用を推奨
 - スマートフォン/タブレット端末の利用も便利
- **5GHz帯を利用すること (2.4GHz帯は劇的に遅い)**
 - 2.4GHz帯は各種ワイヤレス機器(Bluetooth)と帯域共用するので混雑
 - iOSは「abc順で接続を試みる」ので2.4GHz帯が優先される点に注意
 - 実効速度: 2.4GHz帯は数百Kbps-30Mbps程度、5GHz帯は数十Mbps-300Mbps程度
- 教職員ならばゲストユーザIDを発行可能
 - 短期滞在留学生とか学会参加者とか
 - ゲストユーザ用のSSIDはnuwnet1x-guestとnuwnet-guest

<http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/nuwnet/>

(検索キー: NUWNET)

NUWNETの利用方法

● 802.1X認証

- SSIDは「nuwnet1x(5GHz)」もしくは「nuwnet1x」(非推奨)
- 1回認証情報を端末に保存すればOSが自動で認証してくれる
- OSごとの認証情報(名大ID/パスワード)登録方法は以下を参照

<http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/nuwnet/nuwnet1x.html>

(検索キー: nuwnet1x)

● (ウェブ認証)

- SSID: 「nuwnet」選択
- ブラウザで適当なページを開く
 - httpsで始まるページだと、Web認証ページへの転送を不正なページと判断されることあり
- 右のWeb認証ページが表示される
- 名大IDとパスワードを入力にして認証
- 1xとは別システムなので1x不調時に使えるかも



Username:

Password:

ログインして利用する場合には、「[名古屋大学情報セキュリティポリシー・ガイドライン](#)」に同意したものとします。 / By logging to NUWNET, you shall be deemed to have agreed to "[Nagoya University Information Security Guidelines](#)".

スマートフォンへのnuwnet1x設定

- SSID: 「**nuwnet1x (5GHz)**」もしくは「nuwnet1x」(非推奨)を選択
- フェーズ2認証入力欄があれば「MSCHAPv2」を設定
- CA証明書は「システム証明書を利用」を設定
- ドメインを要求されたら「nagoya-u.ac.jp」を入力(Android 11以降)
- サーバ証明書一覧はNUWNETのページから確認できます(学内専用ページ)

	nuwnet1x
	EAP方式
	PEAP ▼
	フェーズ2認証
「MSCHAPv2」 →	MSCHAPV2 ▼
	CA証明書
	システム証明書を使用 ▼
	ドメイン
「nagoya-u.ac.jp」 →	nagoya-u.ac.jp
名古屋大学ID →	ID

iOS

圏外 9:19

“nuwnet1x”のパスワードを入力

キャンセル パスワード入力 接続

ユーザ名 zz9999999 ← 名古屋大学ID

パスワード ●●●●●●●● ← パスワード

eduroam

- 国内外の加盟機関で無線LANの相互利用の枠組み
 - 基本的に、大学間の無線LAN相互利用サービス
 - 加盟機関の無線LANサービスに名大IDで認証可能
 - 海外だと、駅とか空港とかの公共の施設でeduroamを利用可能な所も
 - 関係者の努力で国内の公共の施設でも使える場所が出てきた
- 加盟機関一覧: <http://www.eduroam.jp/participants/siteinfo.html>
- 基地局マップ
 - 日本国内 https://monitor.eduroam.org/eduroam_map.php?type=jp
 - 全世界: https://monitor.eduroam.org/eduroam_map.php?type=all

[Home](#)[eduroamの概要](#)[お知らせ](#)[利用者向け情報](#)

<http://www.eduroam.jp/>
(検索キー: eduroam JP)

重要なお知らせ

機関の管理者の皆様へ:

- 「eduroamJPの正式サービスへの移行について」 [PDF, 2016.3.22]

名大IDでのeduroam利用

- 接続方法は基本的にnuwnet1xと同じ
 - ユーザ名が名大IDの後ろに「@nagoya-u.ac.jp」がつけた物になる
- eduroamを無線LAN接続先に追加した場合、名大内からの接続でもeduroamが選ばれる可能性があることに注意
 - eduroamは学外者が利用するというので、**学外扱いされるネットワークが出口になっている**
 - **学内専用ページはeduroamからは見えない**ようになっている
 - 「NUWNETにつないでいるのに学内専用ページ見えない」と思った時にはeduroam側でつながっていないか注意
 - 接続中のSSIDがnuwnetで始まっているか確認
 - iPadなどは「abc順で上から接続を試みる」ので...(略)
- NUWNETのともども、独自ID/password体系に変更予定

<http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/eduroam/>

(検索キー: 名大 eduroam)

OpenRoaming

- eduroamをベースに一般の方々が使えるようになった新しいFree Wi-Fi提供スタイル
 - eduroamと同様に国際的な枠組みで提供
 - 詳細については、NTT-BPのコラムが分かりやすい[1]
 - 利用者IDの提供は各OpenRoamingのIdP事業者
 - 認証もエンタープライズ向けで強固(偽物を作りにくい)
 - 一昨年あたりから広く普及が進んでいる
 - 様々な自治体が提供を進めている
 - 2024東京マラソン、大阪万博などのイベントなどでも提供
- 家族とか親戚とかにもぜひ

[1] <https://www.ntt-bp.net/column/blog/2025/02/openbegin.html>

ITヘルプデスク

- 自分では必要なくても「他学部の人困っていた」時などに
- 窓口: 情報基盤センター1F 入口横 (図の赤丸)
- 電話: 052-747-6389
 - 電話と窓口は平日8:30-17:15
- E-mail: it-helpdesk AT icts.nagoya-u.ac.jp
 - 注: ATを@に変えること(spam対策)



<http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/ja/helpdesk.html>
(検索キー: 名大 ITヘルプデスク)

名古屋大学図書館の利用(1/2)

- 一般書籍や、過去～最新の学会誌/論文誌を参照できます
 - 電子書籍も提供
- 物によっては中央図書館以外の(学部)図書館にあります



<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/>
(検索キー: 名古屋大学 図書館)

名古屋大学の図書館の利用(2/2)

- 現在の国内外の新聞とそのバックナンバーの閲覧
- マイクロフィルム化された(古い)資料の閲覧
- 古い学会誌の閲覧
- 視聴覚資料の閲覧
- 法律関係や行政関係の資料の閲覧
 - 判例集、国勢調査報告書、など
- メディアセンターのサテライトラボを利用する
 - 平日遅くや土日にも空いています
- 学習用図書や文庫を借りる
- 放送大学のテキストを利用する
- 他の図書館への資料貸借依頼(or訪問用紹介状作成)

ウェブからの図書館蔵書検索

- 図書館共通の検索システムOPAC(Online Public Access Catalog)で検索可能
 - <http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac/catsrd.do>
(検索キー: 名古屋大学 図書館 →2番目の「OPAC」のリンク)
 - 著者名、出版社、出版年の範囲、などで絞り込み可能
 - 資料種別やキャンパス(東山/鶴舞/大幸)、学部図書館の絞り込みも可能

The screenshot displays the OPAC search interface with the following elements:

- *資料種別:** Includes a checked "すべて" option and checkboxes for "和", "洋", "図書", and "雑誌".
- *キャンパス:** Includes a checked "すべて" option and checkboxes for "東山 (中央館)", "鶴舞 (医)", and "大幸 (医保健)".
- *所蔵館:** Includes a checked "すべて" option and two dropdown menus for "所蔵館" and "配置場所".
- キーワード:** A text input field with a note: "↑書名・著者名・ISBN・ISSNでの検索ができます。"
- 書名・雑誌名:** A text input field with examples: "(前方一致の例) biol* sci* (完全一致の例) #science".
- 著者名:** A text input field with an example: "(例)樋口 一葉".
- 出版者:** A text input field.
- ISBN:** A text input field.
- ISSN:** A text input field.
- *出版年(西暦):** A range selection field with a tilde (~) symbol.

ウェブからの電子書籍の利用

- (おそらくこれから拡充されていくと思うサービス)
- 利用方法は提供元によって変わることもあるので個別に確認

名古屋大学附属図書館
Nagoya University Library

HOME

資料を探す

探し方サポート

図書館案内

クイックリンク

図書・雑誌を探す

論文・記事を探す

学内各館サイト

申し込み

新着図書

LEARNING COMMONS
Nagoya University Library
Learning Commons

TOP > 電子書籍案内TOP

電子書籍案内TOP

last update:

データベース関連のお知らせ

【公正利用のお願い】「公正利用の注意」を遵守してください。

- ・意図しないまま個人利用の範囲を超える大量ダウンロードとみなされ、アクセス停止される事例が発生例：プログラムによる自動データ収集利用、ブラウザの先読み機能、手動での連続的ダウンロード等
- ・海賊版サイト（Sci-Hubなど）からのダウンロードは、著作権法違反に当たります。

【電子リソースへのアクセス方法変更について】

2024年4月より、電子リソースへのアクセスは学内・学外のどちらからも本ページから入れるようになります。 ※一部、学外から接続の際に下記のリストから接続できないリソースがあります。その場合はこちらの電子リソース利用（旧リスト）からアクセスしてください。

電子書籍関連のお知らせ

新着情報・障害情報・メンテナンス情報

04/09 【電子サービス】学内・学外からの電子リソース利用方法が変わりました 2024年4月～

<https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/ebook/ebook.html>
(検索キー: 名古屋大学 図書館 電子書籍)

電子ジャーナルの検索

- 最近はどの論文誌も電子版(主にPDF版)を準備しています
- 名古屋大学は多くの電子ジャーナル業者と契約して構成員にサービス提供
 - 名古屋大学内からのみ利用可能
 - 将来的には毎年値段を釣り上げる業者の物は使えなくなるかも
- 注意
 - 利用の注意(http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/ej/ej_atten.html)に従うこと
 - 特に大量ダウンロードで警告をよく受ける(下図)

現在の場所: [ホーム](#) → [メンテ/障害情報](#) → [2014年度](#) → [6/19](#) [〔電子ジャーナル利用上の注意〕](#) Elsevier Science

6/19 [〔電子ジャーナル利用上の注意〕](#) Elsevier Science Direct

6月19日(木) 9:00 Elsevier社より、大量ダウンロードの警告がありました。

6月19日(木) 9:00 Elsevier社より、本学特定IPアドレスからの大量ダウンロードの警告がありました。
特定IPアドレスはプロキシサービスを利用したアクセスです。

電子ジャーナル検索ページ

- トップページ: http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/ej/ej_annai.html
- 雑誌名からの検索
 1. 雑誌名を指定(左下図)
 2. 使える検索サービスから1つを選択し論文情報を入力(右下図)

雑誌名から検索 カテゴリ 検索 CitationLinker

0-9 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ Others
 あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬね
 はひふへほまみむめもやゆよらりるれるわ Others
 Pinyin: ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ Others
 가 나 다 라 마 바 사 아 자 차 카 타 파 하 Others

タイトル: で始まる を含む

NULink 名古屋大学附属図書館 Nagoya University Lib

Source: Nature [0028-0836]

▲ ベーシックサービス

フルテキスト

EBSCOhost Academic Search Premier でフルテキストを見る

年: 巻: 号: 開始ページ:

Available from 1997 volume: 387 issue:6633
 Most recent 1 year(s) not available

Nature でフルテキストを見る

年: 巻: 号: 開始ページ:

Available from 1869 volume: 1 issue:1

ProQuest Central New Platform でフルテキストを見る

年: 巻: 号: 開始ページ:

Available from 1990
 Most recent 1 year(s) not available